

令和3年11月号

鳥取市立

# 賀露小学校だより



TEL 28-1005 FAX 31-3993 児童数329名(11月26日現在)  
URL <http://www.torikyo.ed.jp/karo-e/> E-mail [karo-e@mailk.torikyo.ed.jp](mailto:karo-e@mailk.torikyo.ed.jp)

## 子どもの成長を支えるもの

校長 河中 俊文

11月14日(日)、学習発表会が行われました。各学年が趣向を凝らし、日頃の学習の成果を発表してくれました。さて、保護者の皆さんの目には、子どもたちの演技は、どの様に映ったのでしょうか。子どもたちの成長した姿、そして何より「本気」「全力」で取り組む姿を感じていただけたら幸いです。



子どもたちと学校行事に取り組むとき、必ずすることがあります。それは、子どもたちと目標を共有することです。目標は、学年ごとに異なる場合もありますが、どれもその本質は「本気」「全力」で取り組むことです。ところが、子どもの「本気」には、残念ながらハプニング(失敗?)がつきものです。緊張でセリフが早口になったり、飛んでしまったり、声が小さくなったりと、ひやひやハラハラドキドキの連続です。大人から見ると「失敗」と映ることも、「本気」で物事に向かう過程で起きたことなら、それは、子どもにとって意味のある経験です。そして、どんなハプニング(失敗?)があっても、保護者の方の「ようがんばった！見に来たかいがあったで！」という温かい言葉かけによる意味付けで、子どもたちは、自分に誇りをもち、勇気をもって次の一步を踏み出すことができるのです。



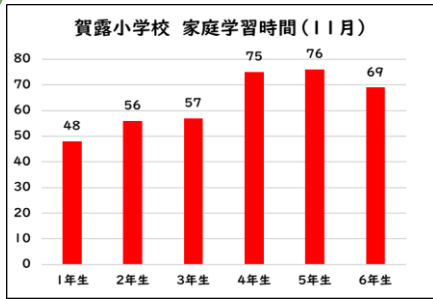
教師になって間もない頃でした。運動会の「クラス対抗大縄跳び」に向けて、あるクラスの子どもたちが、昼休憩・放課後と自主的に集まって「本気」になって練習をしていました。何度も失敗する子どもたちに、見かねた担任が、縄の持ち方や回し方、そして並び方など、成功の秘訣を事細かく教えました。その担任の姿を見ていた先輩教師のひとりが、ポツリと一言、「今いいとこだのに、がまんせんと。」その言葉は、失敗を繰り返す子どもたちにではなく、失敗させまいとした担任に向けられたものでした。「子どもたちが、試行錯誤を重ねながら、今何かをつかもうとしている。ここが大きな値打ち！大人が子どもの成長のチャンスを奪ってはダメ！」子どもの成長を見守る大人の姿勢を、教えられた気がしました。

子どもが「本気」で何かに向き合っているとき、大人は安易に手を貸さず、子どもの試行錯誤に寄り添いながら、最後まで励まし続けることが大切です。なぜなら、子どもにとって大切なことは、失敗しないことではなく、「体験から学ぶこと」だからです。成功体験も失敗体験も、子どもにとっては、「これからの世を自力で生きていく力」を身に付ける貴重な学びの機会なのです。もし、子どもが助けを求めてきたら、子どもが自力解決できる部分を差し引いた上での手助けにしたいものです。そして、無事にやり遂げたら「よくやったなあ。」と、失敗しても、「全力」で向き合った結果なら、がんばりを力いっぱい讃えてやってほしいのです。



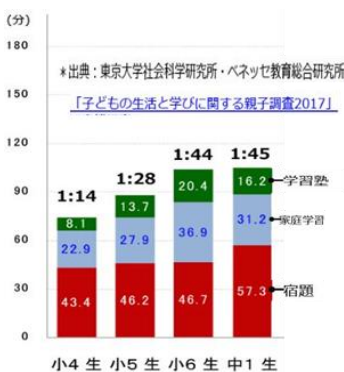
でも、子どもの失敗に大人が介入すべき場面もあります。それは、「友だちを傷つけた」「周りの人に迷惑をかけた」「自分勝手な言動をした」といった、子どもが倫理的判断を誤った場面です。こんなときこそ、大人が「本気」で、子どもの道を正すのです。いつ・どれだけ「手を出すか、口を出すか」、そのさじ加減は難しいところですが、いざというときには、嫌われても、うとまれても、愛する子どもに全身全霊で向き合う覚悟が必要です。子どもの成長は、大人の温かいまなざしと、子どもと本気で向き合う覚悟にかかっているのです。

## 学力向上に挑む①



先月の学校だよりで本校の学力の状況についてご報告しましたが、学力調査の結果を受けて、まずは、子どもたちの学習実態や生活実態、基本的な学力について、本校独自で調査を行いました。今月は、その中の家庭学習時間についてお伝えします。

11月1日(月)～7日(日)の1週間の平均学習時間は、1年生48分、2年生56分、3年生57分、4年生75分、5年生76分、6年生69分でした。



ベネッセが東京大学と共同で実施した「子どもの生活と学びに関する親子調査 2017」の結果によると、学校以外での学習時間の平均は小4が74分、小5が88分、小6では104分となっています。本校の児童の家庭学習時間は、4年生は全国平均と変わりませんが、学年が上がるにつれ、全国平均より少ないということが分かります。また、個々の学習の様子を見ると、毎日きちんと家庭学習に取り組んでいる児童もいますが、休日にまとめて3時間学習をし、平日は家庭学習時間が0分という児童も複数ありました。

一昨年度、湖東中の1年生で家庭学習にかかる時間を調査したところ、宿題にかかる時間は1日平均94分という結果が出ています。宿題以外の予習復習を含めると、さらに学習時間が必要ということが分かります。中学校に進学すれば誰でも、自動的にこの時間、家庭学習ができるようになるわけではありません。小学生の間に、最後まで確実に宿題に取り組み、自学や予習復習等を行うという学習の習慣を付けておくことが必要です。この機会に、ぜひ、お子様と家庭学習について話し合い、各ご家庭で家庭学習の取組について考えていただきたいと思います。

## アルミ缶回収BOX設置

11月7日(日)に、教育振興会の執行部と関係者の5名のみなさんが、飼育小屋となりの木小屋にアルミ缶回収BOXを作成し、設置してくださいました。

これは、アルミ缶回収を年間1回の資源回収のときだけ行うのではなく、常時回収することで、少しでも学校の教育活動に協力したい、という教育振興会のみなさんの熱い思いから設置していただいたものです。

今後は、設置していただいたBOXに環境委員会の児童が絵をかいたり、アルミ缶回収を保護者や地域のみなさんに呼びかけたりして活用していきます。

ご家庭でアルミ缶の飲料を飲まれた際には、中を洗っていただき、子どもたちに持たせてください。回収へのご協力をよろしくお願いします。



## 釧路市立鳥取小学校 一本嶋校長先生他2名の校長先生来校

11月4日(木)に昨年度から交流している釧路市立鳥取小学校の一本嶋校長先生、昭和小学校の鈴木校長先生、朝陽小学校の工藤校長先生の3名の校長先生方が学校視察で来校されました。

当日、3名の先生方には鳥取小学校と主に交流している4年生と交流していただきました。釧路市の海底から掘削した石炭や鳥取小学校の歴史がわかるミニブックなどを頂きました。児童玄関に展示していますので、ぜひ、ご覧ください。

## 12月の主な行事予定

- 12月1日(水) 全校集会
- 3日(金) 短縮40分授業  
保小公連携花植え交流会(体育館)  
賀露・賀露みどり保育園年長児来校  
かもめ教室
- 6日(月) 委員会活動
- 7日(火)～9日(木) 担任交代週間②
- 10日(金) かもめ教室
- 16日(木) 卒業写真 10:00
- 17日(金) かもめ教室
- 20日(月) 第3回学校運営協議会
- 24日(金) 後期前半終了集会
- 25日(土) 冬季休業日～1月6日(木)
- 1/7(金) 後期後半開始集会(給食あり)、10日(月) 成人の日、25日(火)・26日(水) 個人懇談③

### <基本的下校時刻>

- 1年 14:45 水曜日 14:25
- 2年 14:45 火曜日 15:35 水曜日 14:25
- 3年 15:35 水曜日 15:15
- 4～6年 15:35 水曜日 15:15
- ※12月3日(金) 3年生以下 14:20 学年下校  
4年生以上 15:05 学年下校

## チーム賀露 コーナー



今月のチーム賀露コーナーは、毎日の登下校時の見守りや付き添い、校内の奉仕作業、学校行事にも積極的に参加していただいている、「子ども見守り隊」の「はまちゃん」こと濱下信義さんの寄稿です。

### 「地域と学校を結ぶ④」

～1人の大人が1人の子どもを見守れば～

子どもがあいさつをしないと時々聞きます。なぜしないのか考えてみると、大人は、普段から「知らない人にはついて行かない。」と言い聞かせています。ですから、子どもたちは、毎朝出会う見守り隊の人とはあいさつを交わしても、知らない人や、たまに出会う人にもあいさつを、と言われても戸惑ったり、できなかつたりするのかもしれませんが。

これを少しでも良い方向に前進できないかと思っています。今、小学校が実践している「いいところ探し」。これを私たち大人も実行し、近所の1人の子どもの名前を呼び、いいところを探して褒める。そうして、子どもたちから「おっちゃん」「おばちゃん」と呼んでもらえる関係を築き上げていけたらいいと思います。

子ども見守り隊 濱下 信義